



スポーツボランティアサミットのご案内

スポーツを活用して社会を変える ～ポスト2020を見据えたボランティアについて～

2020年東京大会の開催を目前に、スポーツボランティア活動への社会的認知が高まり、昨今、この活動をどのように社会に還元していくのかが問われています。

今回のサミットは「スポーツを活用して社会を変える」をテーマに多様な視点から、これからのスポーツボランティアのあり方を見出し、広く社会に発信していきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2019年2月11日（月・祝）13:00～16:00

場所：拓殖大学文京キャンパス（詳細は裏面参照）

主催：日本スポーツボランティアネットワーク

共催：日本財団ボランティアサポートセンター

協力：拓殖大学

参加費：1,000円 定員：200名

申込：スポボラ.net (<https://spovol.net/seminars/detail/?pid=164>)

スポーツボランティアサミット



特定非営利活動法人 日本スポーツボランティアネットワーク

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル3F

TEL:03-6229-5620 FAX:03-6229-5621

<http://www.jsvn.or.jp/> E-mail:info@jsvn.or.jp

プログラム

基調講演 藁科 義弘 氏(川崎フロンターレ 代表取締役社長)

パネルディスカッション

テーマ: 企業×イベントスポーツ、イベントスポーツ×自治体、障害者スポーツ×企業等の事例をもとに地域や団体で展開するために(仮)

パネリスト

倉田 秀道 氏(あいおいニッセイ同和損害保険 経営企画部次長)

竹川 隆司 氏(東北風土マラソン&フェスティバル発起人会 代表)

峰岸 和弘 氏(スペシャルオリンピックス日本・東京 事務局長)

モデレーター

澁谷 茂樹 氏(笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所主席研究員)

講演 朝原 宣治 氏(アスリートネットワーク 副理事長)

総括 二宮 雅也 氏(日本スポーツボランティアネットワーク理事)

【会場アクセス】

拓殖大学文京キャンパス

E館4階 407教室

(東京都文京区小日向3-4-14)

東京メロ 丸ノ内線

「茗荷谷駅」下車 徒歩3分

※駐車場がないためお車でのお越しは
ご遠慮ください。



日本スポーツボランティアネットワークとは

スポーツボランティア文化の醸成を図り、全国各地のスポーツボランティア団体間のネットワークを構築し、活動情報の共有や協働事業を推進する団体です。

□コーディネート事業

「ボランティアを必要とする団体」と「ボランティアに参加したい人」をつなぐ情報提供です。スポーツボランティアを必要とする団体の情報がスポボラ.netを通して発信されます。

□スポーツボランティア養成事業

「スポーツボランティア研修会」から「コーディネーター養成研修会」まで、4つのステップアップ形式で構成されています。また、受講者には、自己啓発としてスキルアップ研修会も開催しています。

□周知・啓発事業

スポーツボランティアへの関わり方は、種目や役割など多種多様です。「ボランティア個人」「ボランティア団体」「ボランティアを必要とする団体」など立場も異なります。スポーツボランティアに関わるそれぞれの立場の人が一堂に会し、活動報告や意見交換を行うことで、これからのスポーツボランティアのあり方を見出し広く社会に発信します。